

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用		備考
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置		
1	女 10歳 未滿	急性肺炎 (なし)	300mg 3日間	薬剤性肝炎 投与開始日 肺炎の診断で小児科に入院となった。本剤とフロモキシセフナトリウムで治療を開始した。 投与3日目 (投与終了日) 本剤の投与を終了した。 終了1日後 AST(GOT), ALT(GPT), LDHの上昇が認められた。 終了3日後 発熱は持続し, 意識レベル低下のため, 総合病院小児科に紹介入院となった。グリチルリチン・グリシン・システイン配合剤20mL × 3回の静注, 総合ビタミン剤による加療を開始した。 終了11日後 AST(GOT), ALT(GPT)は改善し, CRPもほぼ陰性化した。 終了25日後 経過中, 2回の発熱を認めたが, 肝機能が正常化したため, 軽快退院となった。 DLST検査: 本剤 S.I.185% (陽性) フロモキシセフナトリウム S.I.133% (陰性) サイトメガロウイルス: 陰性 EB(Epstein-Barr)ウイルス: 陰性		企業報告

臨床検査値

	投与 開始日	終了 1日後	終了 3日後	終了 4日後	終了 5日後	終了 7日後	終了 11日後	終了 23日後
AST(GOT) (IU/L)	26	102	2480	1960	818	179	31	20
ALT(GPT) (IU/L)	11	42	1614	1663	1394	747	183	18
AI-P (IU/L)					263	302	468	
LDH (IU/L)	203	839	5671	4670	2415	1164	755	478
γ-GTP (IU/L)			22	24	41	81	101	70
総ビリルビン (mg/dL)				0.4	0.5	0.5		0.3
CRP (mg/dL)	5.0		0.95	0.63	0.31	0.18	0.04	0.29

併用薬: フロモキシセフナトリウム

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用		備考
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置		
2	女 40代	急性気管支炎 (筋肉痛, 鉄欠 乏性貧血, 急 性胃腸炎)	500mg 3日間	白血球減少, 血小板減少 投与13日前 熱, 咳, 鼻水, 腹痛があり, クラリスロマイシ ン, ヒベンズ酸チペピジン, カルボシステイ ン, 総合感冒剤による治療を行った。 投与11日前 症状が軽減したが, 投薬治療を続けた。 基礎疾患の貧血, 筋肉痛に対し, 硫酸鉄, アスコルビン酸・パントテン酸カルシウム, フ ルスルチアミンの投与を開始した。 投与開始日 症状悪化(咳が激しく, 微熱が38.0 , 腹痛 あり)のため, 再来院した。(抗生物質を)本 剤に変薬し, 投薬治療を続けた。 投与3日目 発熱, 発汗, 倦怠感が改善しないため, 総 (投与終了日) 合病院を受診した。血液検査を行ったとこ ろ, 白血球数 $920/\text{mm}^3$, 血小板数 $6.9 \times$ $10^4/\text{mm}^3$ であった。入院となった。 終了4日後 回復傾向となった。		企業報告

臨床検査値

	投与13日前	投与3日目 (投与終了日)	終了4日後	終了21日後
白血球数 ($/\text{mm}^3$)	4380	920	2800	3450
血小板数 ($\times 10^4/\text{mm}^3$)	16.6	6.9	13.5	11.8
好中球 (%)	69.2			51.0

併用薬: 硫酸鉄, アスコルビン酸・パントテン酸カルシウム, フルスルチアミン, ロキソプロフェンナトリウム, ジクロフェナクナトリウム, *d*-マレイン酸クロルフェニラミン, 桜皮エキス

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用		備考
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置		
3	男 30代	急性扁桃炎 (なし)	500mg 2日間	横紋筋融解症 飲酒習慣:ビール 500mL/日 投与1日前 夕刻から発熱があった。 投与開始日 初診時, 咽頭, 扁桃の発赤を認め, 他に病的所見なく, 急性扁桃炎と診断し, 本剤 500mg, ロキソプロフェンナトリウム180mg, セラペターゼ30mgを処方した。 投与2日目 (投与中止日) 両側性に手足の異常なだるさ(手足に充分な力が入らない)を自覚した。上肢は前腕部(肘から掌), 下肢は大腿部及び下腿部に脱力感が認められた。 中止1日後 朝, 前日からの手足の異常なだるさを自覚し, 再診した。初診時からの発熱(38~39)は持続しており, 本剤は患者判断により中止していた。血液検査を施行し, 麻黄湯エキス顆粒を処方した(ロキソプロフェンナトリウム, セラペターゼは中止の指示が十分に伝わらず, 服用を続けた)。当日は仕事に従事した。 夜, CK(CPK)が3016IU/Lと上昇していたため, 翌日の再診を指示した。 中止2日後 朝, 自覚症状は前々日, 前日と比較し, 軽減傾向にあった。再度, 血液検査を行った結果, CK(CPK)9270IU/L, LDH637IU/L, 血中ミオグロビン2190ng/mL, クレアチニン0.63mg/dLであった。 中止3日後 他院へ紹介した。CK(CPK)は7170IU/Lであった。 中止4日後 CK(CPK)は4560IU/Lであった。特に治療もせず, 自宅安静のみの経過観察となった。 中止6日後 自覚症状はほとんど軽減した。CK(CPK)は1962IU/Lであった。 中止8日後 検尿を行い, 蛋白, 潜血ともに陰性であった。CK(CPK)は804IU/Lと徐々に回復傾向にあった。 中止18日後 CK(CPK)は201IU/Lまで回復した。		企業報告

臨床検査値

	中止 1日後	中止 2日後	中止 3日後	中止 4日後	中止 6日後	中止 8日後	中止 18日後
CK(CPK) (IU/L)	3016	9270	7170	4560	1962	804	201
血中ミオグロビン (ng/mL)		2190					
尿中ミオグロビン (ng/mL)		> 3000					
BUN (mg/dL)		18.4	17.0				
クレアチニン (mg/dL)		0.63	0.67				
Na (mEq/L)		141	139				
K (mEq/L)		3.9	4.6				
Cl (mEq/L)		103	102				
AST (GOT) (IU/L)		257	270		128		
ALT (GPT) (IU/L)		83	93		97		

LDH(IU/L)	347	637	547		458		
尿潜血		(+ +)				(-)	
尿蛋白		(+)				(-)	

併用薬:ロキソプロフェンナトリウム,セラペプターゼ